

分類【オーダリングミスの可能性】



(左) ウラリット U 配合散

(右) ウラリット配合錠

「ウラリット U 配合散とウラリット配合錠の成分量の誤換算。用量変更も重なり、複雑な処方チェック」

2011 年 9 月 9 日

22 歳 男性 整形外科

処方内容 (疑義照会前)

ウラリット U 配合散 1 g/包	6 包	1 日	3 回	毎食後	22 日分
ロキソニン 10% 細粒	1.8 g	1 日	3 回	毎食後	7 日分
ムコスタ顆粒 20 0.5g/包	3 包	1 日	3 回	毎食後	7 日分
モーラステープ L 40 mg 7 枚/袋				頓用 疼痛時	4 袋

*前回、ウラリット配合錠 3 錠 1 日 3 回毎食後で処方されていた。今回、患者は錠剤の服用が困難な為、今回よりウラリットは散剤へと剤型変更になった。

発生時点：受付時・入力時

情報源：処方せん

疑義が発生した理由

□前回、処方医はウラリット（一般名：クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物配合製剤）は配合錠しかないと思い込んでおり、ウラリット配合錠 3 錠 1 日 3 回毎食後で処方した。

□前回、投薬時に錠剤の服用が困難であることから、患者より錠剤を潰して服用可能か質問を受けていた。投薬した薬剤師は、散剤への剤型変更について医師に疑義照会できる旨を提案したが、次回、医師に自分で伝えると言われた。

□ウラリット U 配合散、ウラリット配合錠の添付文書の用量には以下の記載がある。

ウラリットーU配合散

通常成人 1 回 1 g を 1 日 3 回経口投与するが、尿検査で pH 6.2 から 6.8 の範囲に入るよう投与量を調整する。

ウラリット配合錠

通常成人 1 回 2 錠を 1 日 3 回経口投与するが、尿検査で pH 6.2 から 6.8 の範

囲に入るよう投与量を調整する。

＊ウラリット U 配合散は 1 包当たりクエン酸カリウム 463 mg であるが、ウラリット配合錠は 1 錠あたり 231.5 mg である。以上より、ウラリット U 配合散 1 包はウラリット配合錠 2 錠に相当する。

□今回、ウラリット配合錠 3 錠/日からウラリット U 配合散 6 包に変更となり、前回と比較すると成分量として 4 倍量処方することとなる。

疑義照会の会話例

薬剤師：お忙しいところ恐れ入ります。会営薬局の薬剤師の〇〇と申します。本日の処方せん受け付けました△△様の処方内容について確認したいのですが、よろしいでしょうか？今回、ウラリット U 配合散が 6 包 毎食後で処方されていますが、散剤は錠剤に比べて 1 包当たり成分量が 2 倍になります。今回と前回の処方を比べると 4 倍量の処方となりますが、用量について再度確認頂けないでしょうか。



医師：今回は効果不十分のため、前回より用量を 2 倍に増量しました。散剤と錠剤では 1 包＝1 錠と同換算と思い、1 日 6 包で処方指示を出しました。前回、ウラリット配合錠 3 錠で、今回は 6 錠で処方したいので、ウラリット U 配合散に換算すると 3 包になりますね。

薬剤師：成分は前回の倍量ですね。それではウラリット U 配合散 3 包 3×毎食後に変更しておきます。お忙しいところありがとうございました。失礼します。



疑義照会後の処方

処方内容（疑義照会后）

ウラリット U 配合散 1 g/包	3 包	1 日	3 回	毎食後	22 日分
ロキソニン 10% 細粒	1.8 g	1 日	3 回	毎食後	7 日分
ムコスタ顆粒 20 0.5 g/包	3 包	1 日	3 回	毎食後	7 日分
モーラステープ L 40 mg 7 枚/袋				頓用 疼痛時	4 袋

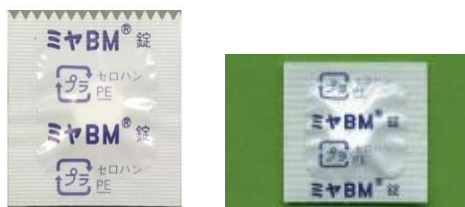
その他特記事項

□散剤（分包品）と錠剤で1包、1錠あたりの成分量や成分が異なる医薬品例

○ミヤ BM 錠・ミヤ BM 細粒

ミヤ BM 錠：本剤は1錠中に宮入菌末 20 mg を含有

ミヤ BM 細粒：本剤は1包(1g)中に宮入菌末 40 mg



※ミヤ BM 細粒1gとミヤ BM錠2錠がほぼ等しい生菌数となる様に調製している。

○ビオスリー配合錠・ビオスリー配合散

ビオスリー配合錠（1錠中）ラクトミン 2 mg 酪酸菌 10 mg 糖化菌 10 mg

ビオスリー配合散（1g中）ラクトミン 10 mg 酪酸菌 50 mg 糖化菌 50 mg



※ビオスリー配合散 1g とビオスリー配合錠 2 錠がほぼ等しい生菌数となる様に調製している。

□散剤（分包品）と錠剤で成分が違う薬剤

○ビオフィェルミン錠剤・ビオフィェルミン配合散

ビオフィェルミン錠剤（1錠中）ビフィズス菌 12 mg

ビオフィェルミン配合散（1包中）ラクトミン 6mg 糖化菌 4 mg



<参考資料>

添付文書

鳥居薬品ホームページ

ビオフィェルミン製薬ホームページ

ミヤリサンホームページ